

主要3項目すべて悪化

業況判断、売上高は次期改善を予測

＜調査機関＞ 北九州商工会議所

＜調査期間＞ 令和6年2月26日～3月22日

〔参考〕調査開始日(2/26)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値 39,233円71銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 150円69銭

＜回答数＞ 479社(製造業107社・非製造業372社)

＜調査方法＞ 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式

本件に関するお問い合わせは、**北九州商工会議所 産業振興課** (TEL:541-0185)

＜概況＞

◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

主要3項目すべて悪化

次期は業況判断と売上高は改善を予測

◆【業種別】

建設業は主要3項目すべて改善

次期は製造業のみ改善と横ばいを予測

◆【規模別】

大規模企業と小規模企業が主要3項目すべて悪化

次期は大規模企業のみ主要3項目すべて改善を予測

※DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

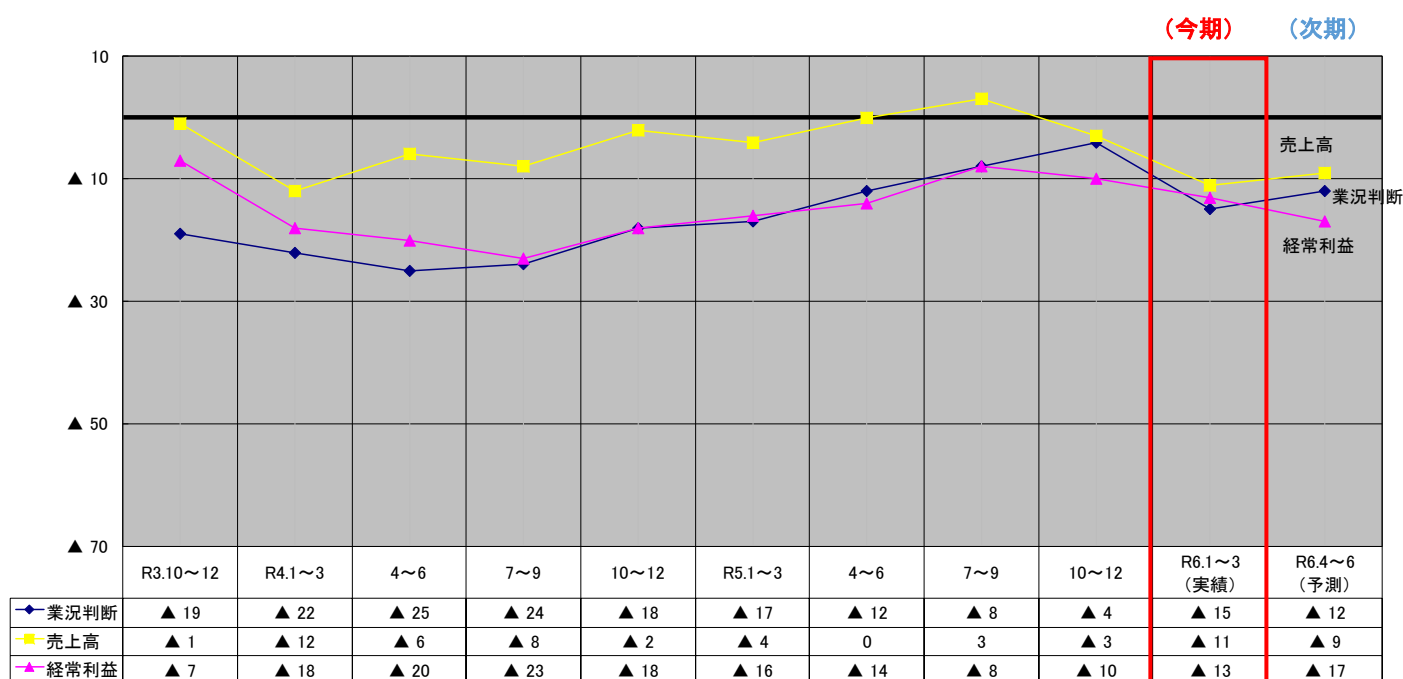
主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

<今期実績> (1-3 月期)

・主要3項目すべて悪化

<次期予測> (4-6 月期)

・業況判断と売上高は改善を予測



	12月調査時の 1~3月期予測	1~3月期実績
業況判断	▲ 13	▲ 15
売上高	▲ 9	▲ 11
経常利益	▲ 17	▲ 13

業種別

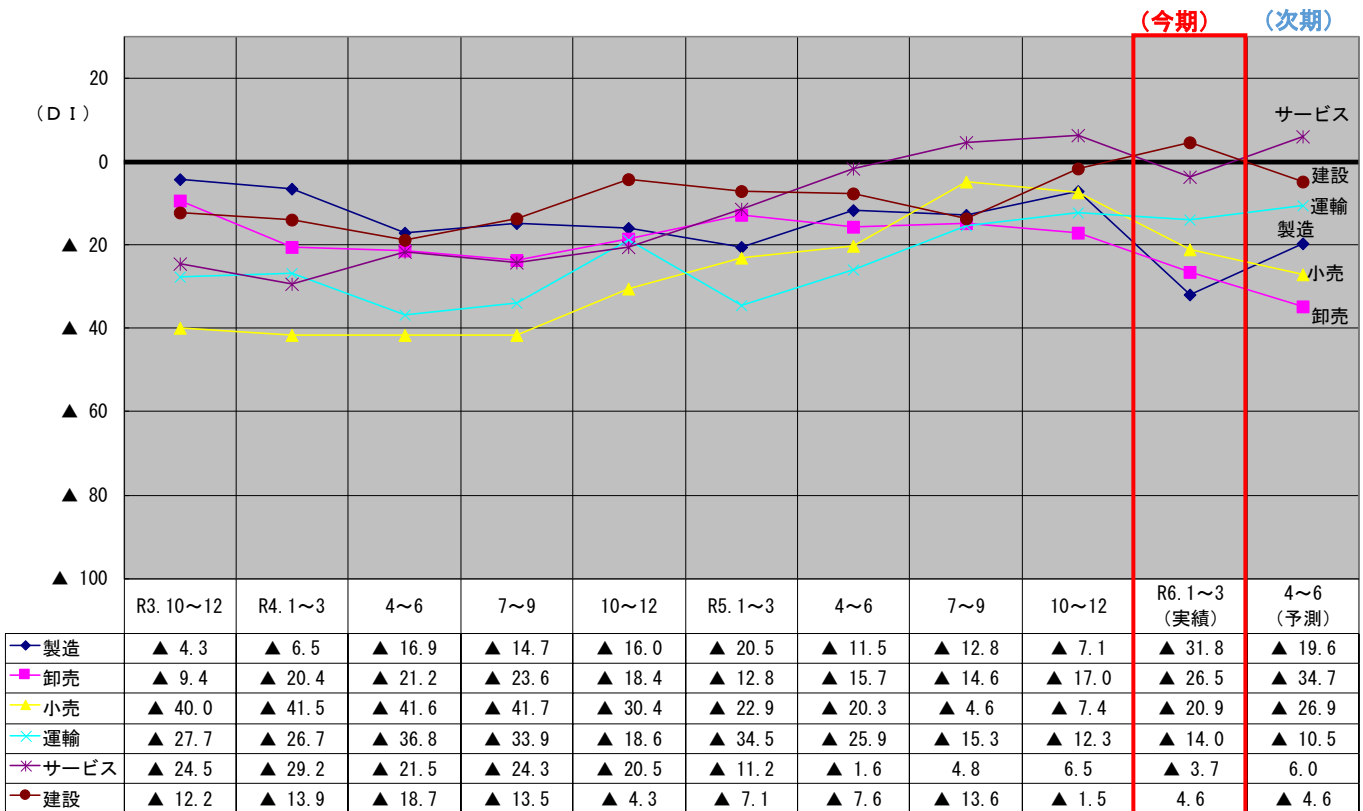
① 業況判断DI

<今期実績> (1-3 月期)

- ・建設業のみ改善、平成 31 年 1-3 月期以来のプラス水準
- ・製造業は 24.7 ポイント、小売業は 13.5 ポイント悪化

<次期予測> (4-6 月期)

- ・製造業、運輸業、サービス業が改善を予測



	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
製造	▲ 18.8	▲ 31.8
卸売	▲ 25.5	▲ 26.5
小売	▲ 20.6	▲ 20.9
運輸	▲ 24.6	▲ 14.0
サービス	▲ 2.4	▲ 3.7
建設	1.5	4.6

業種別

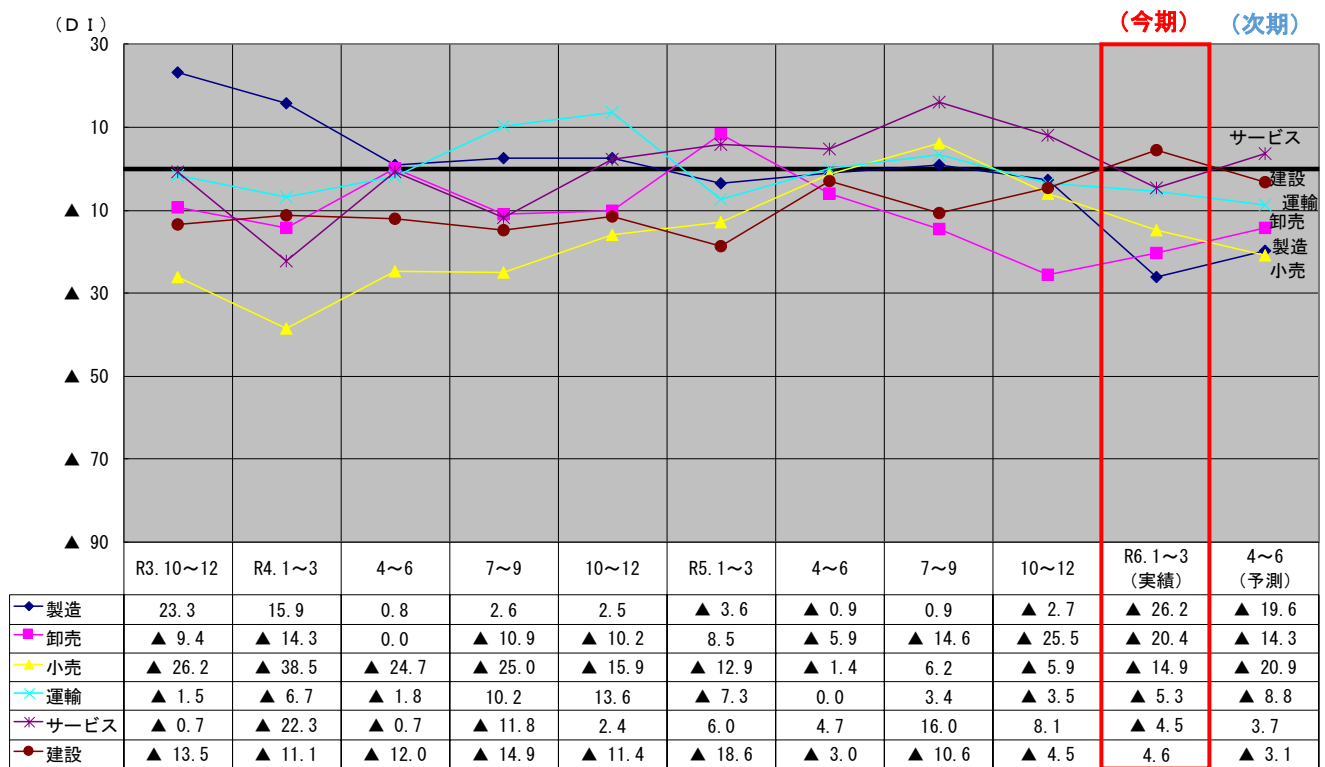
② 売上高DI

<今期実績> (1-3 月期)

- ・卸売業と建設業のみ改善
- ・建設業は平成 30 年 10-12 月期以来のプラス水準

<次期予測> (4-6 月期)

- ・製造業、卸売業、サービス業が改善を予測



	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
製造	▲ 13.4	▲ 26.2
卸売	▲ 27.7	▲ 20.4
小売	▲ 11.8	▲ 14.9
運輸	▲ 12.3	▲ 5.3
サービス	0.8	▲ 4.5
建設	1.5	4.6

業種別

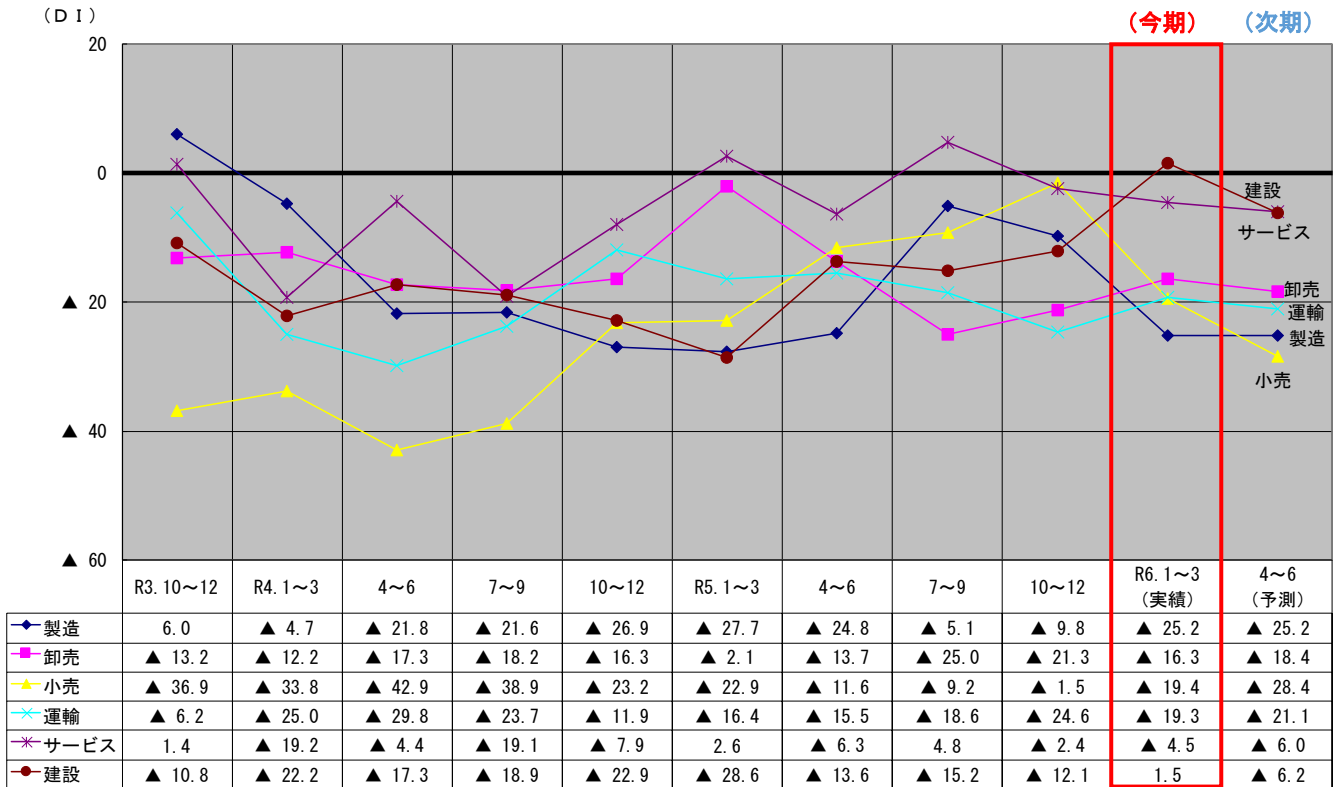
③ 経常利益DI

<今期実績> (1-3 月期)

- ・卸売業、運輸業、建設業が改善
- ・小売業は 17.9 ポイント、製造業は 15.4 ポイント悪化

<次期予測> (4-6 月期)

- ・製造業のみ横ばい、その他すべて悪化を予測



	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
製造	▲ 18.8	▲ 25.2
卸売	▲ 25.5	▲ 16.3
小売	▲ 16.2	▲ 19.4
運輸	▲ 26.3	▲ 19.3
サービス	▲ 12.1	▲ 4.5
建設	▲ 7.6	1.5

規模別

① 業況判断DI

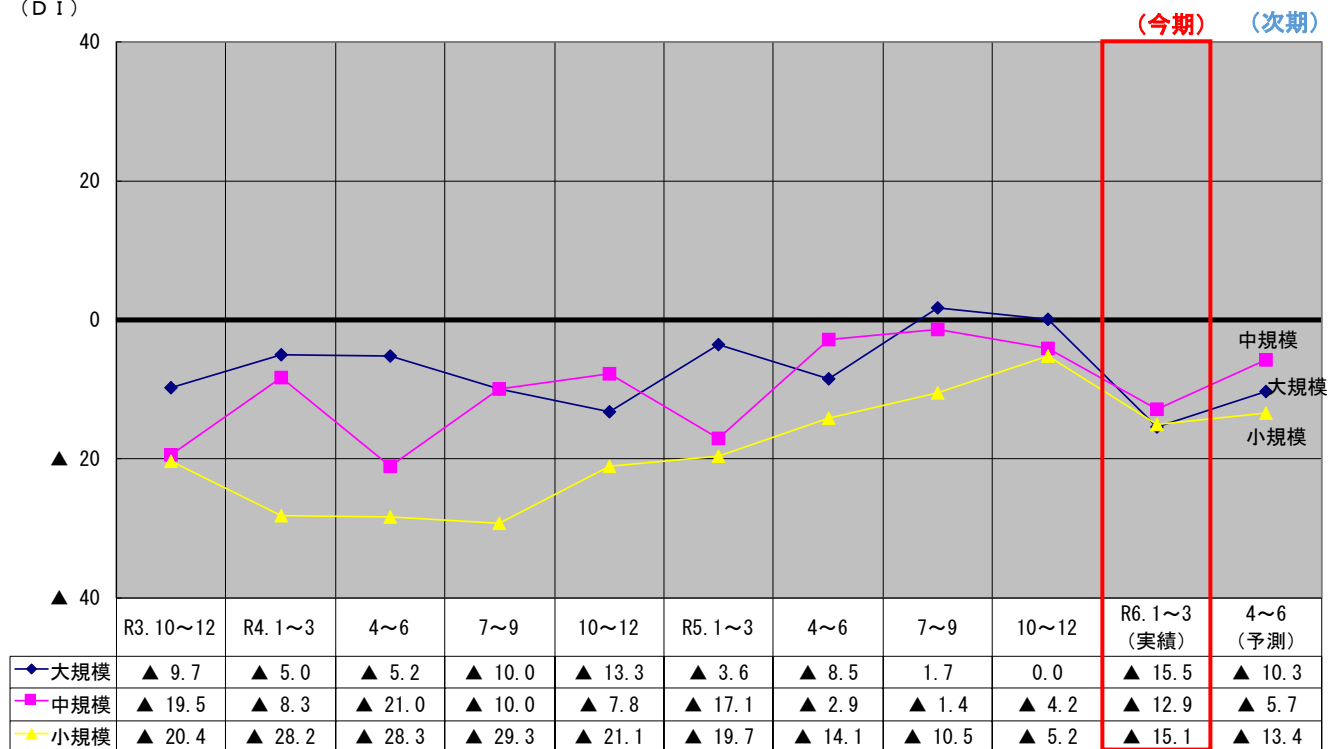
<今期実績> (1-3 月期)

・すべての規模で悪化

<次期予測> (4-6 月期)

・すべての規模で改善を予測

(DI)



	12月調査時の 1~3月期予測	1~3月期実績
大規模	▲7.0	▲15.5
中規模	▲9.7	▲12.9
小規模	▲15.1	▲15.1

規模別

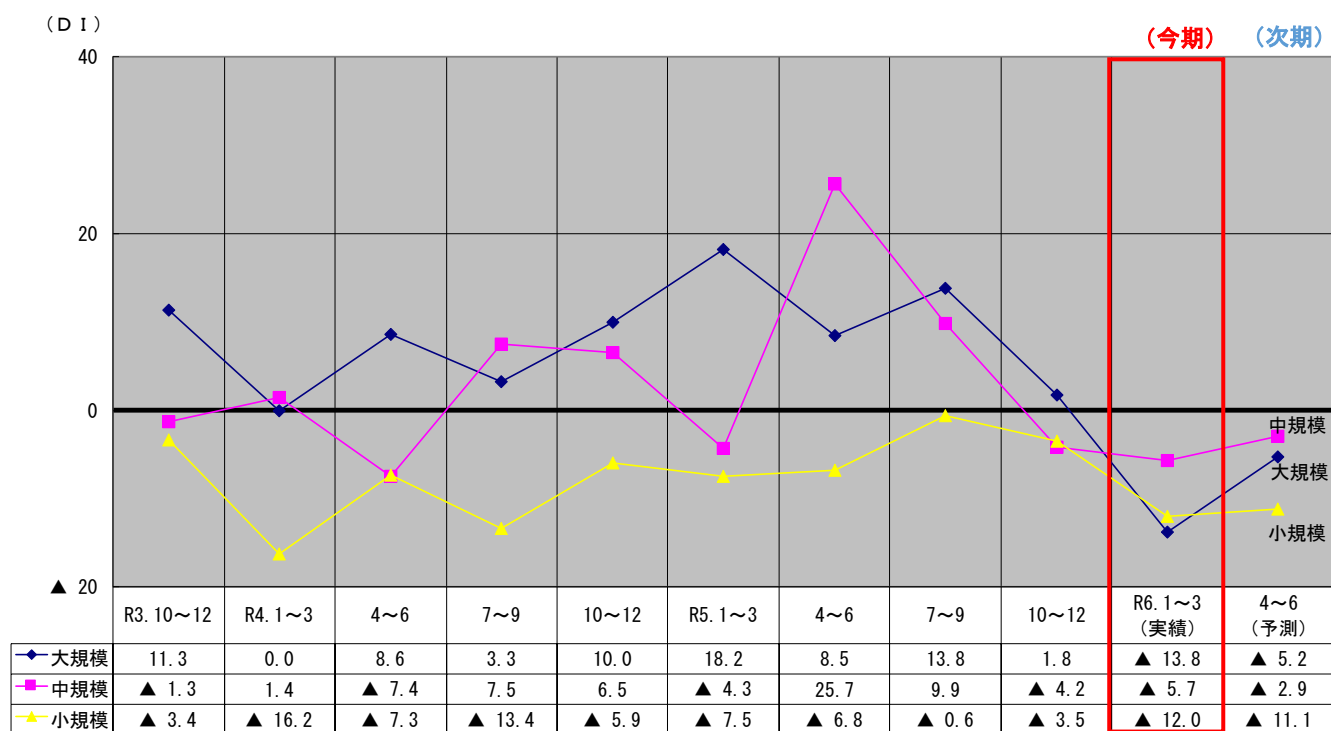
② 売上高DI

<今期実績> (1-3 月期)

- ・すべての規模で悪化
- ・大規模企業は 15.6 ポイント悪化

<次期予測> (4-6 月期)

- ・大規模企業と中規模企業が改善、小規模企業は横ばいを予測



	1 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
大規模	0.0	▲ 13.8
中規模	▲ 2.8	▲ 5.7
小規模	▲ 11.3	▲ 12.0

規模別

③ 経常利益DI

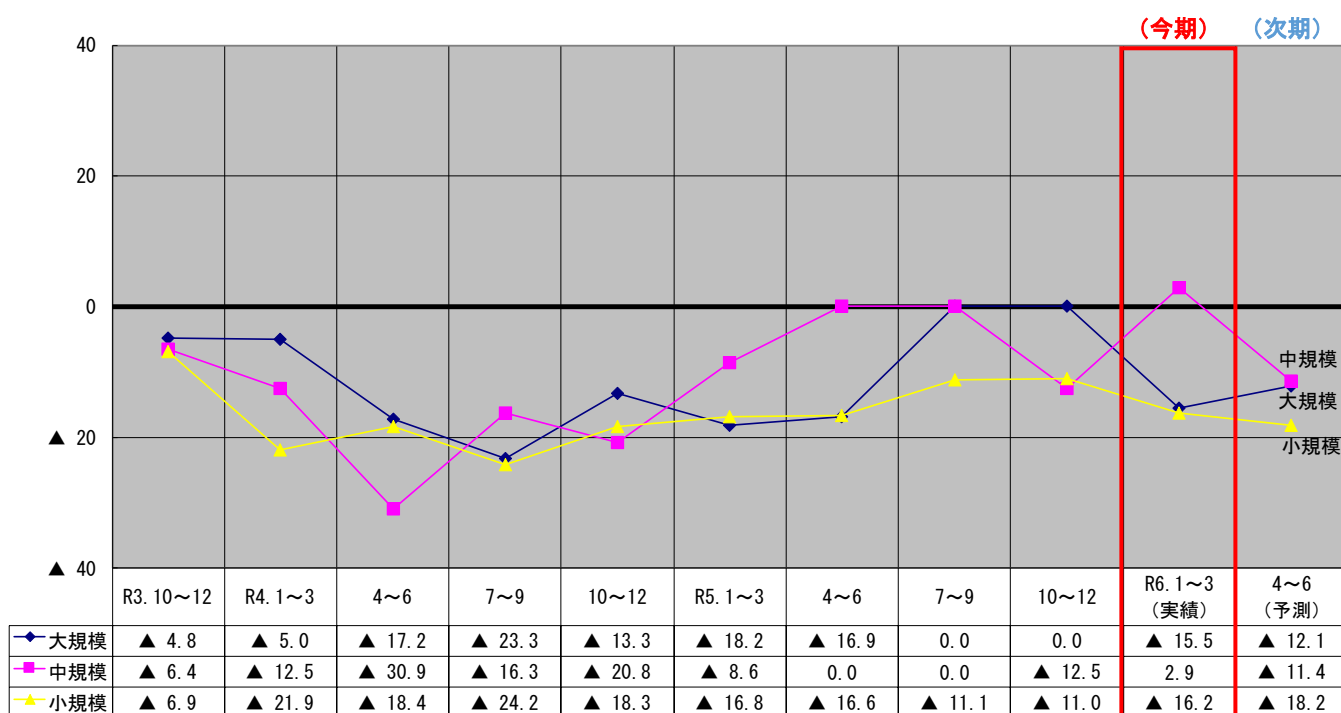
<今期実績> (1-3 月期)

・中規模企業は 15.4 ポイント改善、大規模企業と小規模企業は悪化

<次期予測> (4-6 月期)

・大規模企業のみ改善を予測

(D I)



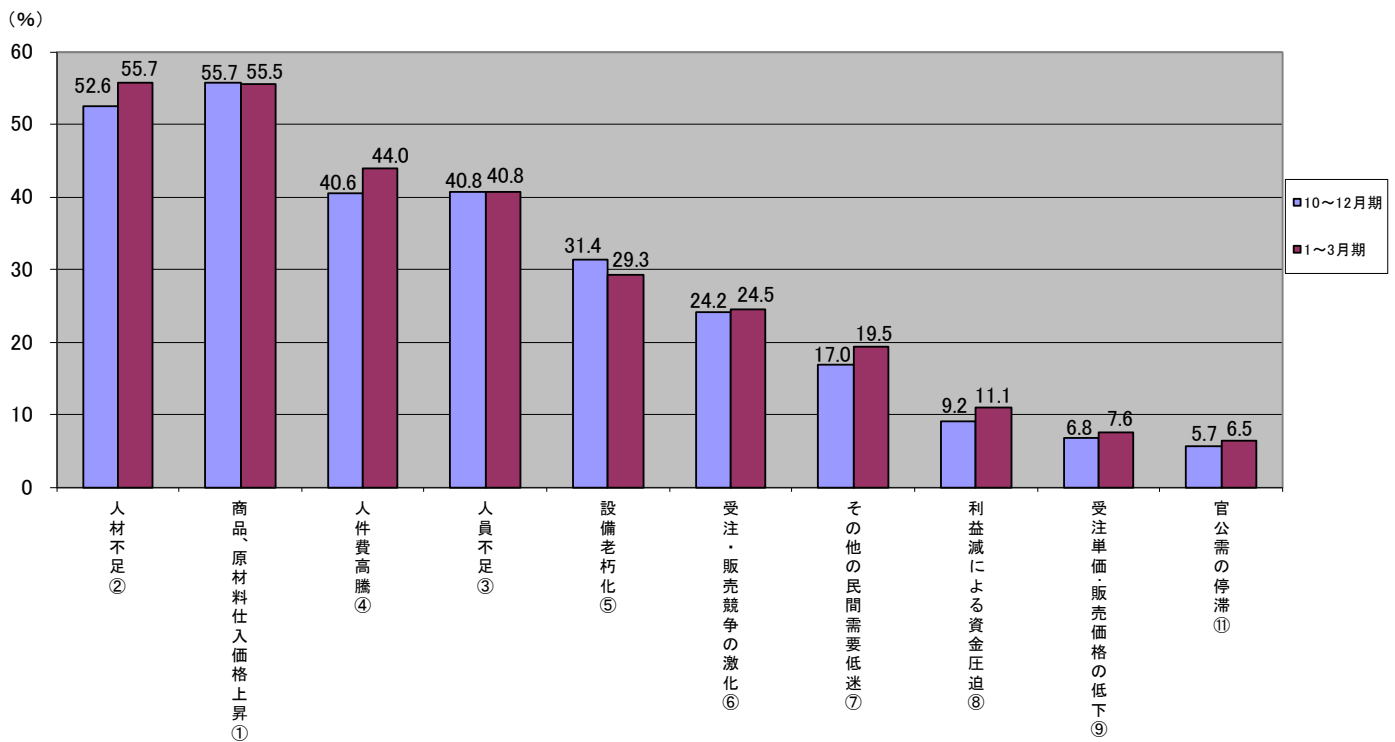
	12月調査時の 1~3月期予測	1~3月期実績
大規模	▲7.0	▲15.5
中規模	▲9.7	2.9
小規模	▲19.7	▲16.2

その他項目 DI の動向

	R4年		R5年				R6年	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3 (実績)	4~6 (予測)
①販売価格・ 受注単価 (「増加」-「減少」)	15.9	22.7	26.3	27.6	25.7	22.8	18.0	18.8
②資金繰り (「容易」-「困難」)	5.6	5.6	8.4	8.6	5.5	4.1	7.9	7.4
③設備投資 (「増加」-「減少」)	▲2.0	▲2.1	▲0.2	0.2	3.0	3.5	5.2	2.6
④雇 用 (「過剰」-「不足」)	▲39.4	▲41.2	▲41.9	▲43.7	▲43.4	▲45.7	▲44.9	▲43.9

- ① 「販売価格・受注単価」……前期から4.8ポイント悪化。次期は横ばいを予測
- ② 「資金繰り」……前期から3.8ポイント改善、次期は横ばいを予測
- ③ 「設備投資」……前期から1.7ポイント改善、次期は2.6ポイント悪化を予測
- ④ 「雇用」……前期から横ばい、次期は1.0ポイント改善を予測

経営上の問題点上位10項目(複数回答)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

企業の声

【製造業(その他の製造業)・大規模】

販売価格の上昇やエネルギーコストの落ち着き、海外事業の好転など明るい兆しがあるが、国内需要の低迷により足元の出荷量が伸び悩んでおり、先行きは不透明

【製造業(その他の製造業)・中規模】

需要の低迷で製品在庫が例年よりかなり多くなっている。中国の原料輸出規制の影響で原料の市場価格が上昇している

【製造業(電気機械器具製造業)・小規模】

受注、販売競争が激化。人材不足、人件費・原材料価格の高騰等も継続的な課題となっている

【卸売業(建築材料卸売業)・小規模】

原材料価格の高騰分は価格転嫁できているが、人件費などの固定費も増えており、その分までの転嫁はできていない

【小売業(その他小売業)・小規模】

商品値上げに伴い既存顧客が減少し、売上が減少

【小売業(機械器具小売業)・小規模】

インボイスや電子帳簿保存法への対応事務処理が本来の営業事務を圧迫している

【運輸業(倉庫業)・小規模】

人員不足でトラックのフル稼働ができていない

【サービス業(情報通信業)・中規模】

外注費・人件費が増加しており、前年度比で業況は悪化している。新卒、中途採用ともに採用はできたが、予定人数には満たなかった

【サービス業(飲食業)・小規模】

引き続き人員不足で予約が入っても断らないといけない状況が続いている

【建設業(その他の設備工事業)・大規模】

建設業における2024年問題(残業規制)の影響もあり、人件費が高騰。顧客の理解が進み価格転嫁はできているが、設備資材などの原材料価格が高騰し、利益に反映できていない

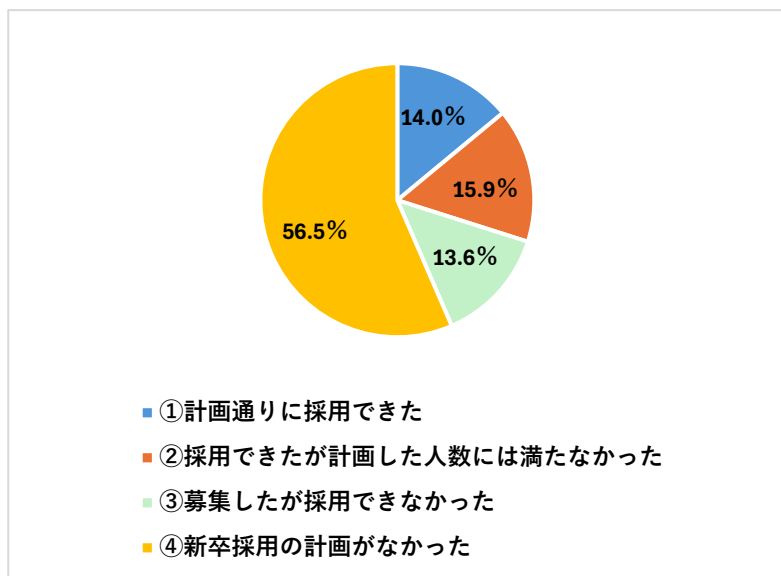
【建設業(建築工事業)・小規模】

案件が増えているがコスト増のため利益確保に苦慮。他社との競争も激しく、安易な価格変更もできない

付帯調査

正社員の採用について(パート・アルバイト除く)

(1)2024年4月1日入社予定の新卒採用について



(2)2023年度(2023年4月～2024年4月1日入社予定含む)の中途採用について

